

松前高校生・東急不動産チームとデジタル観光マップ制作プロジェクト

北海道松前高校との協定に基づく連携事業の一環として、本学の学生5名と同校生6名が松前町に風力発電事業で進出した東急不動産（株）チームと連携した松前町デジタル観光マップ制作プロジェクトがスタートしました。このプロジェクトは、東急不動産（株）の地域貢献事業として行われる取り組みで、松前高校生と札幌大学生はワカモノ・ヨソモノの視点でのコンテンツデザイン、東急不動産チームは、親近感のあるイラストでデザインしたマップとGoogleMapを重ね合わせる技術により、マップ全体のデザインを担います。このプロジェクトをきっかけとして、地域課題である若年層や外国人観光客の獲得、滞在型観光への取り組みも推進されていきます。デジタル観光マップの完成は9月開催の第8回松前城下マグロまつりで公開予定です。



新しい交流拠点施設「TENOH」にて



松前町の新たな資源となる風力発電



松前高校生のガイドは超一流でした

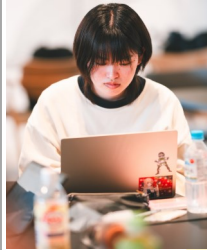
松前のここが素敵！ここがもったいない！



伊藤 侑華(3年)
経済学専攻

松前町は知られていない魅力が潜んでおり、それを伝えたい！

休めるところが少なく、飲食店はもちろん、ベンチなども少ない印象。松前神社や商店会にも、お祭り感を出したら良いと思う。



中嶋 しずく(3年)
経営学専攻

高校生や企業さんと協力して、町の魅力を伝える方法を学びたい！

桜の木を使ったキーホルダーに名前が彫れる(書ける)体験とかあったらいいし、スイーツだけを扱うカフェとかがあってほしい。



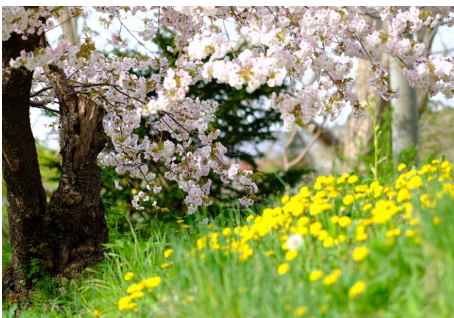
小原 圭乃(3年)
英語専攻

釣りが好きな人は海が魅力的に感じるだろうし、歴史が好きな人には城下町のような建物に魅力を感じるはず。ターゲットを広げよう！



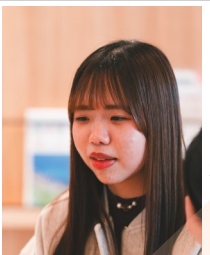
三吉 湧大(2年)
経済学専攻

桜の種類が多く、どの品種の桜を見たのか デジタルマップでチェックできるといいな。綺麗な海での釣りは最高でした！



「競い合い、春を演じる桜とたんぽぽ」
城下通りに祭りの賑わいをもっと！

教授 網島洋一



横田 紗々奈(2年)
リベラルアーツ専攻

「花見と言えば松前だ！」と思ってもらえるようにしたい！座ってゆっくり桜を眺められるような場所や甘味処があったらステキ！

